

日時

2024

12/18 水

13:00~18:10

要事前登録

12/15

締切

会場 東京海洋大学

品川キャンパス

楽水会館

メインホール

会議形式：対面（一部のパネリスト及び討論者はオンライン参加）

使用言語：日本語（英語による同時通訳あり）

主催／共催／後援団体及び Marine Policy 日本特集号の関係者は
オンライン参加が可能です。

国際シンポジウム

日本・北東アジアにおける 持続可能な漁業の将来：

日本の制度改革、地域漁業ガバナンス、
海洋生物資源の管理の改善のための新たな機会

パネル
1

日本における水産学と
持続可能な漁業管理

【パネリスト】「我が国の沖合底曳網漁業のプール制の経済評価」 阪井裕太郎（東京大学大学院農学生命科学研究科准教授）、石原広恵（東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授 / ビュー海洋保全フェロー）

「社会的規範と共同体構造の関係性：日本漁業における実験経済学のアプローチ」 後藤潤（政策研究大学院大学講師）、松井隆宏（東京海洋大学学術研究院准教授）

「日本における資源評価と漁業データの収集システム：日本の漁業管理システムを持続的にするために必要なものは何か？」 岩田繁英（東京海洋大学学術研究院助教）

【討論者】 市野川桃子（水産研究・教育機構水産資源研究所水産資源研究センター 漁業情報解析部 資源解析グループグループ長）、松井隆宏（東京海洋大学学術研究院准教授）

【モデレーター】 阪口功（学習院大学法学部教授）

パネル
2

日本の漁業法の課題と持続可能な
漁業を推進するための政策

【パネリスト】「資源管理の観点から見た日本の漁業法制度」 阪口功（学習院大学法学部教授）、島村健（京都大学大学院法学研究科教授）

「日本の違法漁業対策と法執行上の課題」 田中良弘（一橋大学大学院法学研究科教授；オンライン）

「日本の漁業資源管理における生態系アプローチと海洋保護区」 大久保彩子（東海大学人文学部准教授）

【討論者】 猪又秀夫（東京海洋大学学術研究院教授）、リュ・ジョンゴン（RYU Jeong Gon）（韓国水産会水産政策研究所（Policy Research Institute of Korea Fisheries Association）所長）

【モデレーター】 石井敦（東北大学東北アジア研究センター准教授）

パネル
3

北東アジアの
地域漁業ガバナンス

【パネリスト】「日韓における漁業資源の持続的管理に対する挑戦」 パク・ヨンギル（PARK Young Kil）（韓国海洋水産開発院（Korean Maritime Institute : KMI））、クオン・ナミ（権南希）（KWON Namee）（関西大学政策創造学部教授）

「北西太平洋における国際水産資源管理の諸課題と日本」 真田康弘（オーシャン・ガバナンス研究所研究員 / 学習院大学法学部客員研究員）

【討論者】 濱田武士（北海道大学経済学部教授；オンライン）、クエンティン・ハニック（Quentin HANICH）（ウーロンゴン大学（University of Wollongong）オーストラリア国立海洋資源・安全保障センター（ANCORS）教授；オンライン）

【モデレーター】 児矢野マリ（北海道大学大学院法学研究科教授）

【問合せ先】 シンポジウム組織委員会

TEL 03-5904-9250（学習院大学・阪口研究室）

MAIL pew.symposium@gmail.com

シンポジウム詳細、

事前登録は

こちらから



<https://x.gd/kiYiL>

【主催】 ビュー・チャリタブル・トラストビュー海洋保全フェロー・プログラム

【共催】 北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター【後援】 日本海洋政策学会

Background Image : Designed by Freepik